★ 輝く先輩:「自分の未来から逃げない」

松岡愛佳さん / 2013 年 3 月卒 /英検 2 級

ソフトテニス部 キャプテン(中学・高校)

香川大学 医学部 看護学科

2017 年 4 月～ 広島大学病院 手術部 看護師

勉強をしながらでも、部活動には手を抜きませんでした！

「命」と向き合う現場。

笑顔をモットーに。

(1). 中学時代「これだけはやっておく！」

「普段」 こそ大切！

医療の分野に興味はあるが、教育など多方面に好奇心があり、漠然とした「夢」を持っているだけでした。そんな漠然な「夢」だからこそ、普段の授業や小テストなどを大切にし、自分の力を伸ばせるようにしました。また、中高一貫校だからこそ出会える先輩との関わりも大切だと思います。中学生の皆さんは高校生の凄いところを、どんどん真似てくださいね！

(2). 高校時代「これだけはやっておく！」

「自分の眼で確かめる」「盈進を活用する」

私は興味のある企業に見学を申し込み、自分の目で現場を見て進路決定に役立てていました。まずは自分が動くこと。悩むことも多いと思いますが、そんな時こそ面倒くさいなんて思わず、自分で動いて触れて感じて、何が合うのか考えてみてください。

勉強の面では、あるものを有効利用です。SF 講座、自主学習プリントなど様々な仕組みがあります。これらの活用しないのは、もったいないですよ！

(3). 大学時代の生活

私は進路選択に悩んだ結果、看護科に進学すると決めました。看護師の他にも保健師という国家資格の取得も目指し勉強していたため、授業に実習に試験にと非常に忙しい 4 年間でした。初めて親元を離れて生活したり、アルバイトをしたり、友達と海外旅行に行ったりと高校時代以上と違った充実した生活を送ることが出来ました。

(4). 現在の仕事のやりがい

現在、広島大学病院手術部で看護師として働いています。入職当初は理想と現実の間に苦しむこともありましたが、周りに支えられ、現在は楽しく仕事をしています。様々な疾患を抱えて、治ると信じて恐怖や不安と闘いながら手術室に来られる患者さんに対し、看護師として自分に何が出来るのか、「命」という現場に日々向き合っています。

(5). わが盈進の後輩へのメッセージ

その瞬間を全力で楽しんでください。でも勉強や、進路など向き合わなければいけない時は真剣に向きあってくださいね。悩んだときは、親、友達、先生に沢山相談して自分が納得いくまで考えて、皆さんの夢を叶える第一歩にしてください。

★ 輝く先輩:「 出合った人はすべて“大切な人”」

山本真帆さん / 2013 年 3 月卒 / 英検 2 級

ヒューマンライツ部　部長（中学・高校）

慶應義塾大学 総合政策学部 / 防災デザイン研究室

2015 年 8 月 ドイツ・マルティンルター大学・ハレ留学

2018 年 4 月～　中国新聞社

11 年 7 月 福島の被災者と

11 年 7 月 宮城の被災者と

16 年 6 月 ドイツ. ハレ大学

16 年 3 月 ドイツの子どもたちと

(1). 中学時代「これだけはやっておく！」

先輩に学ぶ！盈進は中高一貫校。その利点は中学時代から高校の先輩が身近にいること。私は中学 2 年生からヒューマンライツ部で活動しましたが、当時 5 年生で部長の藤井智里先輩にとてもあこがれていました。先輩の全校集会でのスピーチを聞いて、「ステキだなあ、いつか私もあんなふうに人前で堂々と話したいなあ」と思っていました。勉強方法も先輩たちに学びました。

(2). 高校時代「これだけはやっておく！」

「授業こそ基本！」。私は放課後のクラブ活動が毎日の生きがいでしたから、その分、授業中に集中して、授業中に理解するように努めていました。

「予習・復習」は、眠たくてもやりきる！どうしても出来ないときは、朝早く、学校でやっていました。

そして **英語の勉強！**必ず毎日やってください！

(3). 大学時代の生活

東日本大震災から「防災学」へ！ 私が高校 1 年の 3 月 11 に東日本大震災発生。高校 2 年、部長として 7 月、私はクラブの仲間たちと原発事故に翻弄される福島と津波被害に悲しむ宮城県を訪れました。

私は、中学の時から、核廃絶の署名活動に参加していました。福島の事故は「もう誰にも同じ思いをさせてはならない」という被爆者の平和への願いが踏みにじられていると、私に問いかけました。原発や平和の問題も学びたくて、ドイツ留学を考えました。

(4). ドイツへ交換留学

語学力、議論するための知識、自分の意見を持つことの大切さを痛感。現地でヒロシマや福島について思いを発信したり、意見を交換し合ったりするなかで、多様な価値観に触れることができました。

(5). 就職活動

クラブの仲間たちと東北を訪れるきっかけをもらったのは一つの新聞記事でした。紙面からほんものの出会いにつながりました。今度は自分自身が縁やきっかけを紡いでいく人になりたいと記者を志しました。

(6). わが盈進の後輩へのメッセージ

自分で決心したことはとことんやりぬく！そんな自分と向き合う大切な時間にしてほしいです。

出合った人はすべて, 私を成長させた大切な人です！

★ 輝く先輩：「『好き』を大切に、自分と向き合う」

矢野祐子さん / 2004 年 3 月卒 /ダンサー 15

中学時代：陸上部キャプテン/ＤＡ　Tokyo 渋谷校卒業

2008 年以降、舞台、イベントなど多数出演、2009 年渡米

学習旅行先の中国で（中３）

陸上部のメンバーと（中３）

恩師と国際理解 FW シンガポール(高２)

運動会でダンスを披露(高２)

(1). 中学時代

中学時代１番頑張ったことは陸上です。小さいときから走るなどの体を動かすことが大好きだったので陸上部を選びました。大会では順位や記録が数字で出るため、結果が出るたびにさらに挑戦することや諦めない気持ちの大切さを学びました。キャプテンになり、全体を見るようになってからは自分の行動１つが他に大きな影響を与えると感じ、相手の立場で行動、発言するようになりました。

(2). 高校時代

高校時代は今の仕事に就くきっかけとなる出来事にたくさん出会った時期でした。学校行事で踊る機会があればまとめ役を買って出て、それが終わるたびに充実感と達成感を得ました。ダンスを習い始めたのもこの頃です。周囲が大学進学の話をする中、自分は何がしたいのか分からないまま 6 年生になりました。そこで「私は本当は何がしたいのだろう」と真剣に考え、本当の自分とシンプルに向き合ったとき「踊るのが好き」という気持ちが自然とわいてきました。

(3). 専門学校時代

大学ではなくダンスの専門学校に行かせてくれた親のためにも、とにかく一生懸命踊りと向き合いました。「天才は 1%のひらめきと 99%の努力」という、上京する際に教えてもらった言葉を胸に、私は 99%の努力を味方につけようと寝る間も惜しみ、ただひたすら踊りがうまくなりたい一心で多くのことを学び、見て、練習を何度も繰り返し、たくさんのコンテストや舞台に参加しました。思いつくことはすべてやりました。

(4). 現在の仕事

今の仕事は、今まで自分がしてきたことがすべて繋がり、自分が望んでいた以上の場所にいる気がしています。有難いことに私は良い出会いに恵まれ、多くの方の支えや後押しをいただき、そして時に叱っていただきました。自分の好きなことで生きていけて、たくさんの尊敬できる人たちに会わせてくれる日々に感謝しています。

(5). 盈進の後輩へのメッセージ

現在東京で行っているダンスの仕事の中で、高校でもダンスのクラスを受け持っています。そこでいつも感じるのは、どんな生徒も無限の可能性に溢れているということ。高校時代はその可能性を夢中で探していい時期だと思います。それがどんなに遠い夢でも、チャンスは意外と世の中に溢れていて、それが見えるようになるまで努力するのか、それが目の前に来た時に自分の手でつかめるかどうかが重要です。そのためにも自分が一番好きなこと、ワクワクすることは何だろうと自分自身と向き合って一生懸命に生きてほしい。好きという気持ちさえあればなんだって頑張れるから！少なくとも私はその気持ちで多くのことを乗り越え、素晴らしい今を生きています。

【以下　矢野さん来歴】

SMAP・郷ひろみ、BoA、倖田來未、三浦大知などのバックダンサーの他、Fairies の振付を担当。Dior addict party や TIFFANY&Co. 主催の TIFFANY MASTARS　PIECES などにも出演。その他、多くの舞台にも出演する、日本を代表する JAZZ ダンサー。

TOUR

倖田來未 TRICK TOUR ダンサー
SMAP TOUR ダンサー
SUPERJUNIOR ダンサー
柚希礼音『REONJACK２』ダンサー
MISIA　TOUR ダンサー

LIVE

倖田來未 10th Anniversary FANTASIA ダンサー
BOA 10th X’mas LIVE ダンサー
三浦大知 武道館 ダンサー
城田優１st　LIVE ダンサー
東方神起 a-nation・EVENT ダンサー
郷ひろみ ALL MY LIFE ダンサー　など

PV・MV

倖田來未「Lick me」「走れ！」「め組の人」「BE MY BABY」「Bambi」
Kinki　Kids「薔薇と太陽」
SMAP「otherside」など

舞台

宮本亜門演出 ミュージカル『THE WIZ』出演。
小池修一郎演出 ミュージカル『ロミオ＆ジュリエット』出演。　など

振付

劇団 EXILE 松組第一回旗揚げ公演「刀舞鬼」振付・出演
超特急 BULLET　TRAIN　ARENA　TOURF2017-2018 the end for beginning「peace of love」「Xmas メドレー」
Fairies(フェアリーズ)「Material Girl」
青森大学・高校男子新体操舞台「BLUEvol.1～３」
「blue フェスティバル 2017」　など

現在の矢野祐子さん

★ 輝く先輩:「やりたいことをやれるように！」

井上拓弥さん / 2010 年 3 月卒

10

バスケットボール部(中学)生徒会(高校)

岡山大学 法学部 法学科 / 神戸大学法科大学院

2017 年 12 月～ 検事任官

2009 年度卒業式にて 6 年D組の生徒･保護者とともに

検事として、正しい判断をするための準備は怠らない

(1). 中学時代「これだけはやっておく！」

学校での生活を大切にする！

中学では、定期試験、宿題、クラブ活動など学校での生活を大切にしましょう。また、挨拶をして、感謝や謝罪の言葉を伝えられるようになりましょう。

社会に出ると、様々な人とコミュニケーションを取ることになります。そこで、挨拶ができない人、感謝や謝罪できない人は、周りから信頼してもらえません。また、社会では、期限までに仕事を完成させるよう求められます。期限が過ぎたり、仕事の完成度が低かったりすることは許されません。

(2). 高校時代「これだけはやっておく！」

将来やりたいことをみつけよう！

高校に入ると、進路の選択をします。そのため、自分がどんなことをしたいのかを考えてください。私は、法曹の仕事に就きたかったので、迷うことなく文系を選びました。将来を考えるときには、その仕事に就くにはどのような苦労をしなければいけないのか、ということを調べてみてください。自分がその苦労をしてでもその仕事に就きたいか、ということを考えてみてください。苦労してでもなりたいと思った道が、皆さんにとって一番良い進路になると思います。

(3). 大学、大学院時代 司法試験に見事合格！

大学4回生からは司法試験の勉強が中心になりました。それまでは、サークルやアルバイトなどが中心でした。司法試験に向けて猛勉強し、合格することができました。司法試験に合格すると、弁護士、検事任官、裁判官の進路を選択することができます。

(4). 現在の仕事のやりがい

被害者や被疑者、被告人の人生を左右する決定をするにあたっては、悩むことも多いです。ですが、私は、被疑者、被害者の話を聞き、真実を追求することにやりがいを感じています。そして、常に私をサポートしてくれる立会事務官に対して、感謝しています。立会事務官と達成感を共有できたときは、とてもうれしいです。

(5). わが盈進の後輩へのメッセージ

私は、縁あって、検事という仕事をしていますが、この仕事に就いて本当によかったです。この仕事に就けたのも「司法試験に合格して、法曹の仕事に就きたい」という自分の気持ちに向き合い続けてきたからです。皆さんにも、ぜひ、「自分のやりたい仕事」に就いてほしいですし、「自分のやりたい仕事」で自分の力を発揮してほしいです。

★ 輝く先輩:「自分のやりたいことを明確に！」

内海孝法さん / 2007 年 3 月卒

バレーボール部(中学)・軽音部(高校)

9

島根大学 医学部 医学科 / バレーボール部・軽音部

2013 年 4 月～ 広島県内病院 小児科医

中高6年間で育んだ友情は、一生もの！

日々小さな命と向き合っています。

(1). 中学時代「これだけはやっておく！」

面倒でも定期試験は真面目に勉強する！私は普段からコツコツと勉強する方ではありませんでしたが、定期試験前は 2 週間前から勉強を始めていました。当時は定期試験毎に学年内での順位発表があったので、友人と順位を競いながらモチベーションに変えていました。中学校の知識は、高校・大学受験における基礎的な部分です。中学校に築いた基礎力はその後の学習をスムーズにしてくれます。

(2). 高校時代「これだけはやっておく！」

将来やりたいこと、やりたい職業を早めに見つけよう！たとえ有名大学に入れたからといって、理想の（自分のやりたい、やりがいのある）職業に就けるとは限りません。大学はあくまで通過点！その後の人生の方が圧倒的に長いのです。より早い時期に明確な目標を立てることで、自然と自分のやるべきことが見えてくるはずです。

(3). 大学時代の生活

医学部は卒業までに最低でも 6 年かかります。卒業前には医師国家試験が待っています。これに合格すれば、研修医としてやっと医者人生がスタートします。大学時代は、自分のやりたいことができる自由な時間が多くあり、自立して行動できる貴重な時間です。

(4). 現在の仕事のやりがい

研修医を終え、現在は小児科医として仕事をしています。特にここ数年は新生児科で働いています。ドラマコウノトリでも出てきた「NICU（新生児集中治療室）」というところです。500g にも満たない未熟児の赤ちゃんや、生まれながらに心臓や他の臓器に問題を抱えた赤ちゃんたちに日々向き合っています。とても小さかった赤ちゃんが、大きくなって元気に退院していく姿を見るのが一番のやりがいです。（２０１３年当時）

(5). わが盈進の後輩へのメッセージ

友人たちは、一緒に受験を乗り越えた戦友でもあり、良きライバルです。周りの仲間が自分を成長させてくれます！友人と切磋琢磨し、後輩のみんなの一人でも多くが、成長してくれることを願っています。

★ 輝く先輩：「今、学んでいることが基盤になる」

土居海斗さん / 2015 年 3 月卒　サッカー部

5

九州大学工学部大学院　都市・交通工学研究室

英検 2 級(高 2 次) TOEIC(670 点)/福山市立緑丘小学校出身

クラスの友達と（高２）

フットサル県リーグ公式戦　（１６番）

アメリカ　マンハッタンブリッジにて

(1). 高校時代

私は高校生活が最もやるべきことが多く、忙しい 3 年間でした。大きくは勉強・部活・友達との時間の 3 つですが、どれも大切で全てを完璧にこなすことは非常に難しいです。私も忙しい毎日を言い訳に、自分で決めたはずの目標から逃げていた時期もあり、少し後悔もあります。しかし、やりきったことに関しては大きな自信と財産になっています。

(2). 大学受験に向けて

受験時期、本当に仲間の存在が、心の支えでした。互いに頼り頼られ、今後もずっとつながっていたいと思う大切な仲間です。周囲の支えに感謝しながら、自分の個性、力を最大限発揮してくださいね。

私は多くの先生方に助けていただきました。盈進は生徒思いの優しい先生ばかりで、必ず力になってくれます。そして、「強い気持ち」を持って頑張ってください！

(3). 大学で学んでいること　研究内容

構造物・土・水に関する力学などの土木に関連する事柄を中心に学んでいます。現在の研究室では経済学を土木に絡めて研究を行っています。大学の授業では、専門以外の事も学ぶことで幅広い知識を身につけることができました。高校時代に学んだ数学や物理等は当たり前のように使っており、高校の勉強の大切さを実感しました。

(4). 大学生活

大学は人生の夏休みとよく言いますが、その通りです。自分で好きに使える時間が多く、無駄にするのも大きく変わるのも自分次第です。社会人になる前の大きなターニングポイントになっています。

(5). わが盈進の後輩へのメッセージ

中・高の友達は一生の友達です。卒業後も遊び、支え合い続ける仲間を大切にして下さい。そして、そんな仲間と共に過ごす中、高の生活は一生の財産になります。仲間と共に、悔いのない生活を送ってください！！

★ 輝く先輩:「仲間との“出合い”が自分を形作る」

高橋悠太さん / 2019年3月卒 / 英検準1級(高3次)

2017年 ヒューマンライツ部 部長 福山市立御幸小学校出身

2017年 外務省「ユース非核特使」ウィーン国連へ派遣

慶應義塾大学 法学部 / 政治学科

2

17年10月、大切な仲間たちと(盈進感謝祭にて)

17年5月、ウィーン国連にて英語スピーチ

19年2月、慶應義塾大学にて

(1). 中学時代「これだけはやっておく!」

本を読む! さまざまなジャンルの本を、たくさん読んでください。本は、自分の視野を広げ、思考を深める糧となります。盈進の読書科は、仲間と真剣に本に向き合い、感想もシェアします。そうして他者の感性に触れることで、深く自分を見つめ、社会を捉えることができます。

勉強も、遊びも、**何にでも、全力で挑戦**してください。たくさん失敗もしてください。その経験が必ず生かされる時がきます。

(2). 高校時代「これだけはやっておく!」

「授業こそ基本!」最も効率的な学習法は、集中して授業に臨み、授業中に理解するように努力することです。理解できないときには、仲間と教え合ったり、先生に聞いたりして、自分の苦手分野と向き合いました。盈進は間違いなく、そのための最適な環境です。

私は、**英語**の学習は特に力を入れました。**英語は生きる力。** 英文は、声に出して読みながら、手で書く。教科書の例文は覚えるぐらいまで読み込む。英文を覚えた分だけ、英会話の質が高くなります。間違ったっていいんですよ。どんどん間違えればいい!まずは、「話しかけてみる」ことを大切に!その積極性で、英語は必ず上達します!

(3). 大学受験

仲間と助け合う!これに尽きる! 学年・クラス・クラブ単位で、助け合い、刺激し合い、励まし合います。最後まで、仲間の連携で戦う!私は、受験を通して、仲間とのつながりの強さを再確認しました。これからもずっと、連絡を取り合うであろう、一生の仲間たちです。

(4). 大学生活に向けて

私は、中高時代、ヒューマンライツ部に所属し、被爆者やハンセン病回復者、被災者ら(社会的マイノリティー)と出会い、尊い学びをいただいてきました。

大学では、その経験とつながりを活かし、人権・平和について、より深く学び、世界を視野に活動します。

社会には、さまざまな意見を持つ人がいますが、異なる意見を持つ人を拒絶するのではなく、まずは**対話する**ことが大切です。そうして、共通点を探り、共に歩む。その姿勢が私の原点です。

(5). わが盈進の後輩へのメッセージ

出合いを大切に!出合いは、自分の世界を広げてくれます。仲間から謙虚に学び、その時々、決して手を抜かず、何ごとにも心を込めて取り組んでください。

★ 輝く先輩：「“今”、何のために学習をする？」

後藤泉稀さん / 2019 年 3 月卒

1

2017 年 ヒューマンライツ部 副部長 /英検・漢検・N 検 2 級(高 2 次)

早稲田大学 社会科学部 府中市立国府小学校出身

人権作文が法務大臣賞(中 1 次) 作文が教育映画に(全国上映)

法務大臣賞受賞作文の朗読中 (中 2)

人権問題で山陽放送の番組に生出演 (高3次)

憧れ続けた早稲田大学のキャンパスで

(1). 中学時代 / 「読む・書く・話す力」

中学時代から鍛えてもらった「読む・書く・話す力」は今も確実に活きています。今、与えられているどんなに小さな「読む・書く・話す」機会も大切に、真剣に向き合ってください。大学入試で使えるだけでなく、人とつながるための「生きる力」になります。

盈進独自の英語プログラムに積極的に参加してください。英語は使うことで自信がつき、世界の人々とコミュニケーションを取るのが楽しくなります。

中学時代は、勉強やクラブに打ち込みながらも、友達と全力で遊ぶことも大事だと思います！

(2). 高校時代 / これをやっていた！

とにかく評定平均 (5 段階評価) を意識し、自分に厳しく、納得するまで、すべての教科を学習していました。

資格取得にも力を入れました。英検はもちろん、漢検やニュース検定にもチャレンジしました。これらは、大学受験の際、評価していただきました。

他校も含め、個性あふれる仲間に恵まれ、平和や人権などをテーマに意見交換をすることで、刺激を受けました。

(3). 大学受験に向けて

受験時期、本当に仲間の存在が、心の支えでした。互いに頼り頼られ、今後もずっとつながっていたいと思う大切な仲間です。周囲の支えに感謝しながら、自分の個性、力を最大限発揮してくださいね。

(4). 大学生活への決意

私も「輝く先輩」であり続けたいと思います。大学では、仲間を増やし、積極的にボランティア活動などに参加します。中 1 次から学び続けた人権（ハンセン病）問題学習も継続します。地域はもちろん、国際的な舞台に立つために、語学力向上をめざします。

(5). わが盈進の後輩へのメッセージ

「学習し、自分を磨くと、素晴らしい人と出合う可能性は広がる。その出合いは自分がどうしても身動きが取れなくなった時、助けてくれる」。私は今、クラブ活動を通してつながった大切な人のこの言葉を自分の行動の軸にしています。「何のために学習するか」を問い続けながら、私もみなさんに負けずに自分を磨きます。